



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日  
上場取引所 東

上場会社名 T P R株式会社  
 コード番号 6463 URL http://www.tpr.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 岸 雅伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小島 亮治 TEL 03-5293-2811  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	89,415	△6.0	6,645	△28.7	7,442	△33.1	4,995	△21.3
2019年3月期第2四半期	95,103	4.0	9,323	△16.6	11,125	△12.9	6,345	△4.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,484百万円 (14.3%) 2019年3月期第2四半期 4,797百万円 (△48.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	140.76	—
2019年3月期第2四半期	178.83	178.81

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	231,130	137,487	47.3	3,079.59
2019年3月期	232,275	135,472	45.9	3,001.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 109,314百万円 2019年3月期 106,519百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 2020年3月期配当金(予想)の内訳 普通配当 56円00銭 記念配当 4円00銭(創立80周年記念配当)

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	187,700	△2.6	15,400	△15.9	18,600	△14.5	10,900	△5.3	307.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	36,100,099株	2019年3月期	36,100,099株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	603,657株	2019年3月期	615,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	35,488,318株	2019年3月期2Q	35,480,761株

(注) 期末自己株式数については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2020年3月期2Q 84,000株、2019年3月期 96,300株）を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2020年3月期2Q 91,730株、2019年3月期2Q 98,822株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上見積りの変更)	10
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間を取り巻く経営環境は、国内は雇用や所得環境が改善し、緩やかな回復傾向を持続いたしました。一方、海外は米中貿易摩擦のより一層の激化や英国のEU離脱問題の影響による世界経済の減速懸念など、国際経済の不確実性は更に増しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが主として関連する自動車業界におきましては、国内は登録車、軽自動車ともに下支えをし、堅調に推移いたしました。一方、海外は中国、新興国市場の対前年割れ、北米は小型トラックで下支えしたものの乗用車で大幅減少となり、世界市場全体として大変厳しい環境となりました。

こうした経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、中国、北米の二大市場の減速等により6.0%減少いたしました。利益面は、継続的な原価低減活動の推進や経費圧縮などを実行いたしました。売上高の減少や新技術の量産立上げコスト、新商品の開発費用などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績数値につきましては、次のとおりであります。

売上高	894億15百万円	(前年同期比 6.0%減)
営業利益	66億45百万円	(前年同期比 28.7%減)
経常利益	74億42百万円	(前年同期比 33.1%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	49億95百万円	(前年同期比 21.3%減)

セグメントの業績概況は、次のとおりであります。

< T P R グループ (除くファルテックグループ) >

## ①日本

日本は、売上高は243億51百万円で、前年同期に比べて37百万円の増収となりました。セグメント利益は20億32百万円で、新技術の量産立上げコスト、新商品の開発費用などにより、前年同期に比べて3億18百万円の減益となりました。

## ②アジア

アジア地域は、売上高は143億84百万円で、中国市場の減速や販売単価の下落などにより、前年同期に比べて32億38百万円の減収となりました。セグメント利益は29億61百万円で、売上高の減少などにより、前年同期に比べて19億24百万円の減益となりました。

## ③北米

北米地域は、売上高は67億62百万円で、北米市場の減速などにより、前年同期に比べて13億73百万円の減収となりました。セグメント利益は5億53百万円で、売上高の減少などにより、前年同期に比べて3億21百万円の減益となりました。

## ④その他地域

その他地域は、売上高は14億25百万円で、前年同期に比べて3億27百万円の減収となりました。セグメント利益は4億44百万円で、前年同期に比べて1億24百万円の減益となりました。

< ファルテックグループ >

売上高は424億91百万円で、グローバルでお客様生産台数減の影響を受けたことにより、前年同期に比べて7億85百万円の減収となりました。セグメント利益は7億円で、現場改善活動が進んだことなどにより、前年同期に比べて4億10百万円の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して11億45百万円減少し、2,311億30百万円となりました。これは主に有形固定資産が59億64百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が52億47百万円、現金及び預金が19億94百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

## (負債)

負債は、前連結会計年度末と比較して31億60百万円減少し、936億42百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が28億56百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して20億14百万円増加し、1,374億87百万円となりました。これは主に利益剰余金が37億70百万円増加した一方、為替換算調整勘定が15億87百万円減少したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前第2四半期連結累計期間末と比較して14億27百万円増加し、358億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、87億75百万円（前年同期比1.8%減）となりました。主な資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が91億99百万円、減価償却費が53億44百万円、売上債権の減少額が48億73百万円、主な資金の減少は、仕入債務の減少額が45億72百万円、法人税等の支払額が26億18百万円等であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、58億58百万円（同12.1%減）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の売却による収入が26億63百万円、定期預金の払戻による収入が12億38百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出が90億74百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、37億62百万円（同20.0%減）となりました。これは主に長期借入れによる収入が27億円及び返済による支出が33億65百万円、非支配株主への配当金の支払額が21億10百万円、配当金の支払額が9億60百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,248	37,254
受取手形及び売掛金	46,279	41,032
商品及び製品	11,702	11,685
仕掛品	4,254	3,887
原材料及び貯蔵品	7,126	7,331
その他	6,302	6,326
貸倒引当金	△313	△264
流動資産合計	114,600	107,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,613	22,730
機械装置及び運搬具（純額）	29,429	29,403
その他（純額）	18,055	22,929
有形固定資産合計	69,099	75,063
無形固定資産		
のれん	667	578
その他	1,934	1,988
無形固定資産合計	2,601	2,566
投資その他の資産		
投資有価証券	24,563	24,500
退職給付に係る資産	4,892	5,067
その他	16,536	16,796
貸倒引当金	△18	△118
投資その他の資産合計	45,974	46,246
固定資産合計	117,675	123,876
資産合計	232,275	231,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,663	15,806
電子記録債務	10,355	8,456
短期借入金	25,230	25,115
未払法人税等	1,371	1,388
賞与引当金	2,286	2,099
その他	11,275	10,851
流動負債合計	69,184	63,718
固定負債		
長期借入金	14,116	14,852
退職給付に係る負債	6,338	5,907
引当金	1,112	975
資産除去債務	101	178
その他	5,949	8,010
固定負債合計	27,618	29,924
負債合計	96,802	93,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,758	4,758
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	88,412	92,182
自己株式	△1,118	△1,075
株主資本合計	96,261	100,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,083	10,667
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	12	△1,574
退職給付に係る調整累計額	162	146
その他の包括利益累計額合計	10,258	9,239
新株予約権	161	147
非支配株主持分	28,791	28,025
純資産合計	135,472	137,487
負債純資産合計	232,275	231,130

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	95,103	89,415
売上原価	71,865	69,459
売上総利益	23,237	19,956
販売費及び一般管理費	13,913	13,310
営業利益	9,323	6,645
営業外収益		
受取利息	157	180
受取配当金	358	280
持分法による投資利益	1,216	815
その他	351	391
営業外収益合計	2,083	1,668
営業外費用		
支払利息	130	177
為替差損	48	218
その他	103	476
営業外費用合計	282	871
経常利益	11,125	7,442
特別利益		
固定資産売却益	—	1,752
新株予約権戻入益	—	13
課徴金返還額	—	59
補助金収入	17	—
特別利益合計	17	1,825
特別損失		
固定資産除却損	52	50
投資有価証券評価損	172	18
特別損失合計	225	69
税金等調整前四半期純利益	10,917	9,199
法人税等	2,166	2,175
四半期純利益	8,751	7,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,406	2,028
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,345	4,995



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	8,751	7,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△477	582
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△2,757	△1,582
退職給付に係る調整額	△39	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△678	△556
その他の包括利益合計	△3,953	△1,538
四半期包括利益	4,797	5,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,177	3,976
非支配株主に係る四半期包括利益	1,620	1,508

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,917	9,199
減価償却費	5,020	5,344
のれん償却額	93	88
持分法による投資損益 (△は益)	△1,216	△815
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16	50
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△19	△265
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△286	△349
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	△188
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△63	△137
受取利息及び受取配当金	△515	△461
支払利息	130	177
為替差損益 (△は益)	31	224
固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,752
固定資産除却損	52	50
投資有価証券評価損益 (△は益)	172	18
課徴金返還額	—	△59
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,457	4,873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△706	△11
仕入債務の増減額 (△は減少)	△492	△4,572
その他	△261	△1,387
小計	11,411	10,025
利息及び配当金の受取額	607	1,490
利息の支払額	△139	△180
課徴金の返還による収入	—	59
課徴金の支払額	△149	—
法人税等の支払額	△2,796	△2,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,934	8,775
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△345	△457
定期預金の払戻による収入	170	1,238
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,119	△9,074
有形及び無形固定資産の売却による収入	8	2,663
投資有価証券の取得による支出	△27	△40
貸付けによる支出	△287	△603
貸付金の回収による収入	93	538
その他	△154	△124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,661	△5,858

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,290	△362
長期借入れによる収入	3,800	2,700
長期借入金の返済による支出	△3,231	△3,365
リース債務の返済による支出	△737	△709
セール・アンド・リースバックによる収入	255	1,046
株式の発行による収入	6	—
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△925	△960
非支配株主への配当金の支払額	△2,579	△2,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,702	△3,762
現金及び現金同等物に係る換算差額	△733	△581
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,164	△1,426
現金及び現金同等物の期首残高	37,312	37,047
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	225	180
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,373	35,801

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社北九州ファルテックは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社において、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している在外子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

一部の連結子会社において、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として12年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を10年に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,313	17,623	8,136	1,753	51,826	43,276	95,103
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,761	1,659	75	32	6,528	0	6,528
計	29,074	19,283	8,211	1,785	58,355	43,276	101,631
セグメント利益	2,351	4,885	874	568	8,680	290	8,970

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,970
セグメント間取引消去	91
未実現利益の調整額	261
四半期連結損益計算書の営業利益	9,323

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,351	14,384	6,762	1,425	46,924	42,491	89,415
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,893	1,712	64	27	6,698	0	6,698
計	29,244	16,097	6,826	1,453	53,622	42,491	96,113
セグメント利益	2,032	2,961	553	444	5,991	700	6,692

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,692
セグメント間取引消去	65
未実現利益の調整額	△111
四半期連結損益計算書の営業利益	6,645

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。